

魚沼基幹病院 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	魚沼基幹病院における睡眠薬の使用状況調査
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	対象者：2015 年 6 月 1 日以降，当院で睡眠薬が処方された 18 歳から 100 歳までの入院患者さん。 研究責任者：山岸宏和
③概要	不眠症の治療に使用されることが多いベンゾジアゼピン受容体作動薬は長期間・高用量の使用により依存形成や転倒・転落などの問題を引き起こす可能性があることが知られています。近年、日本にて発売されたメラトニン受容体作動薬やオレキシン受容体拮抗薬はベンゾジアゼピン受容体作動薬とは異なる働きをもつ睡眠薬です。これらは依存形成や転倒・転落の危険性が低いこと、さらにせん妄を予防することなどが報告されており、徐々に不眠症治療の主流になりつつあります。そこで、魚沼基幹病院において開院時からの睡眠薬の使用状況を調査・把握し、今後の不眠症治療に役立てるため本研究を計画しました。
④申請番号	E2025000801
⑤研究の目的・意義	当院で睡眠薬が処方されている患者さんが適切な睡眠薬を選択されることで転倒・転落やせん妄の発症を最小限にします。
⑥研究期間	倫理委員会承認日から 2030 年 3 月 31 日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	診療科，処方されている睡眠薬の種類や用量に関するデータを利用します。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い，研究に使用します。研究の成果は，学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが，名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	当院開院から 2024 年度までに睡眠薬が処方された 18 歳から 100 歳までの患者さんが入院した診療科，処方された睡眠薬の種類，処方量，せん妄や転倒・転落に関する情報
⑨利用の範囲	魚沼基幹病院 精神科および薬剤部
⑩試料・情報の管理について責任を有する者	魚沼基幹病院 薬剤部 山岸宏和
⑪お問い合わせ先	魚沼基幹病院薬剤部 山岸宏和 TEL：025-777-3200（代表） E-mail：h-yamagishi@ncmi.or.jp